

目標未達成理由等の報告書

平成30年度経営体
育成支援事業

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
山形県	寒河江市	醍醐地区	平成30年度	令和2年度	寒河江市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置 及び目標達成見込時期等
1		付加価値額の拡大	収入額、人件費は拡大したものの、トラクターの故障に伴う更新等で費用が想定以上に拡大した結果、達成率は50.2%となった。	新たな販路確保等による販売金額の拡大及び経費抑制に努め、令和3年度中の目標達成を見込む。
		経営面積の拡大	年々面積は拡大しているものの、経営上の適が確保できず達成率は85.7%となった。	中間管理事業の活用や関係機関等の指導を受け、令和3年度中の目標達成を見込む。

II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標項目	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置 及び目標達成見込時期等
付加価値額の拡大	1経営体が目標未達成(達成率50.2%) 新型コロナウイルス感染症拡大による需要低下の影響を受けた、米・花きの価格下落により販売額が確保できず未達成となった	販路拡大等を支援しながら販売金額の一層の拡大させ、経費抑制を指導することで令和3年度中の目標達成を見込む。
経営面積の拡大	1経営体が目標未達成(達成率85.7%) 受け手となる助成対象者の担い手の経営上効率的な農地の出し手が少なく、計画的な規模拡大ができなかったため未達成となっている	地区全体の農地利用集積状況を踏まえ、農地中間管理事業の活用促進を図り、令和3年度までの目標達成を見込む。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

1 担い手への農地利用集積について

市全体として、農業従事者の高齢化や後継者不足が進む中、市街地を中心とする当該地区も高齢化等に伴う担い手の確保が喫緊の課題である。

当該地区の農地面積に対し、現状担い手が交錯している面積の割合は49.9%であり、今後の貸付予定面積と合わせると担い手への集積率は60.4%を見込んでいる。今後、担い手の高齢化等を考慮すると、新規参入も含めた法人化、また担い手に対し農地中間管理事業の活用を促進することで、さらなる利用集積を図る。

2 必要となる中心経営体の育成について

当該地区の中心経営体数は27経営体であり、今後は農業後継者や新規就農者の育成に積極的に取組み、中心経営体の育成確保を図る。

3 人・農地プランの作成・見直し等について

現行の人・農地プランは平成25年3月に作成し、毎年地区ごとに推進会議を開催し、プランの見直しを行っている。令和元年度には、農地集積化に関する具体的な将来方針を作成するためプランの実質化に取組み、地区ごとの状況等を踏まえ、人・農地プランの見直しを毎年度実施する予定である。

4 未達成者の対応等

その他構造政策を効果的に推進するため、市全体の中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活用状況を踏まえ、関係機関と連携しながら未達成者に対するフォローアップや支援を引き続き実施する。